

マーケットの動き（2020年8月17日～8月21日）

先週の国内株式市場は、前週末比で下落しました。

前週に約半年ぶりの高値を回復するなど堅調に推移してきたことから、利益確定売りも出やすい結果となりました。

17日に発表された4-6月期GDP（国内総生産）は、戦後最大の落ち込みとなり、景気回復ペースが当初想定より遅れる懸念が広がりました。また、米中協議の無期延期報道を受けて米中対立悪化の懸念が高まりました。

投資環境見通し（2020年8月）

国内株式相場は下値は限られるも上値は重い

国内株式相場は、海外株式市場に比べ割安感があることに加え、下落局面では日銀によるETF買い入れも予想されることなどから、下値は限られるとみています。一方、実体経済については、個人消費や企業の設備投資に対して慎重姿勢がみられることや、アジア地域で需要が伸び悩んでいることなどもあり、他の先進国に比べ景気回復ペースは鈍くなると考えています。さらに、国内の新型コロナウイルスの感染再拡大に伴い経済活動が再び鈍化する懸念もあります。当面の国内株式相場は、下値不安は小さいながらも足元の経済環境から上値の重い展開を予想しています。

	8月21日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
TOPIX（東証株価指数）	1,604.06	▲1.19%	1.35%	▲4.18%	7.12%
日経平均株価	22,920.30	▲1.58%	0.16%	▲1.99%	11.16%

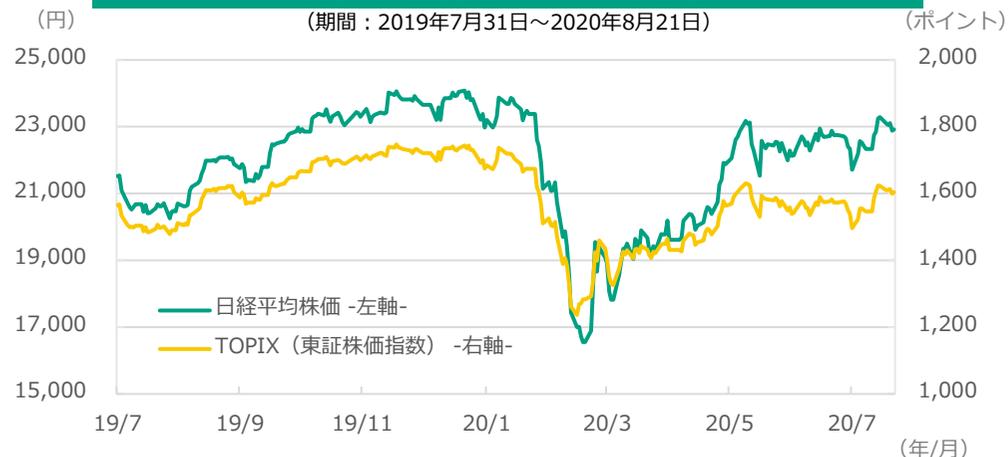
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202008_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなされるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

日経平均株価、TOPIXの推移



TOPIX規模別指数の推移



※2019年7月31日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成